

イベント名	令和2年度 ひきこもりを考える集い 『自分らしさって何だろう?』 ～ただいま生き方模索中、あなたの選択・私の選択～
講師	シンポジスト ひきこもり経験者2名、ご家族1名、支援者1名 コーディネーター 小倉記念病院 緩和ケア・精神科 部長 三木 浩司 氏 北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぴ」 センター長 和田 修 氏
開催日時	令和2年12月12日(土) 13:00 ~ 17:00
開催場所	ウェルとばた 【第一部】 3階中ホール 【第二部】 8階 83、84会議室
参加者数	83名(ひきこもりの経験者・当事者、ご家族、支援者、など)
内容等	ひきこもりの問題に悩む家族や本人、関心を持つ市民に対し、ひきこもりへの理解を深め、問題の幅広い捉え方や望ましい関わり方について共に考える機会を提供することを目的に第一部はシンポジウム、第二部はグループでの語り合いを開催した。 第一部では、「自分らしさって何だろう?」をテーマにして、ひきこもり経験者2名、ご家族1名、支援者1名からそれぞれの体験談を発表していただいた。第二部では、ひきこもりに悩むご本人、ご家族同士での語り合いを行った。
参加者の声	【第一部】 <ul style="list-style-type: none"> •皆さまのお話を伺い、皆一生懸命生きているのだと感じました。一生懸命生きているからこそ、悩みや不安、生きづらさを抱えるのだと思います。ひきこもりについて考えるにあたってそのような悩みや不安、生きづらさを軽減し、解消することが出来る人、場所とつながることの大切さを学びました。(ご家族) •ひきこもった原因探しではなく、これからを前向きにどうやって生きて行こうかと思えるようになりました。(当事者) •貴重な体験談をありがとうございます。誰の人生とも比べる事の出来ない人生を感じられるお話でした。皆さんが話してくださったことが、きっと誰かを支えてくれると思います。(支援者) 【第二部】 <ul style="list-style-type: none"> •あらためて自分の事を振り返り初心に帰る事も出来ました。(当事者) •お話を聞いていただいて、またお話を聞かせていただいてありがとうございました。少し気が安らぎました。(ご家族) •内容が濃かったです、大変参考になりました。ありがとうございました。(ご家族) •当事者の方、スタッフの皆さん、他の家族の話を聞いて良かったです。心が軽くなりました。(ご家族)